



# 社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2025年

1月

No.322

親子講座で離乳食作りを学び、交流も深めました



## 1月の社協だより

今月号の表紙は「親子講座」です。親子のスキンシップの大切さ、子育ての悩みや不安に思っていることを話せる機会として行いました。

他にも今月号は当協議会が行っている事業を紹介しています。

また、社協情報には1月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

## もくじ

- P2 新年のご挨拶／会長 西村 博則
- P3 社協情報  
／もの忘れ相談室、認知症サポーター養成講座 など
- P4 地域福祉課
- P6 在宅福祉課
- P8 シルバー人材センター／総務課

# 新年のご挨拶

益城町社会福祉協議会

会長 西村 博則

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、新年早々、能登半島におきまして震度7の地震が発生し、さらに9月には豪雨による二重の災害に見舞われております。

地震や豪雨により犠牲になられた方々に対し哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われませんでした方の方に対し心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧・復興を願っております。

社協としては、石川県珠洲市に災害ボランティアセンターの運営支援にいち早く職員を派遣し、熊本地震での経験を活かした復旧支援を行いました。

さらに昨年は、地球温暖化等によりますます異常気象や世界情勢の変化に伴う物価高騰などの影響によりまして、皆様におかれましては様々なご苦労があったのではないかと推察いたします。

さて町では、平成28年熊本地震から8年8か月が経過し、県道熊本高森線の4車線化工事や木山復興土地区画整理事業などの復興事業が着

実に進んでいます。

そのような中、社会福祉協議会では、昨年10月に法人後見事業設置の承認を熊本家庭裁判所より受けました。

今後は、受任に向けての事業推進を図ってまいります。

さらには、生活再建に向けた総合相談、見守り活動、新たなコミュニティづくり等について、地域に寄り添った支援を続けてまいります。

また、認知症地域支援事業や居宅介護支援事業等の実施に加え、地域の困りごとやご相談に

応えていくことも重要です。

これからも社会福祉協議会の使命であります地域福祉の推進を図るために「オールまじき」のもと、地域の皆様と行政、社会福祉協議会が一体となつて、お互いが支え合える地域共生社会の実現に向け職員一同、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年にあたっての挨拶といたします。



# 社協情報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。



## ◆もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関に紹介する相談室を開設しています。

相談日／1月21日（火）

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

（住所／益城町宮園702）

※事前予約不要

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◆認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解をもち、認知症の方やその家族にとっても優しい地域になるようにという思いで講座を行っています。当日は認知症カフェと同時開催です。

開催日時／1月8日（水） 13時30分から

場所／復興まちづくりセンターにじいろ

（住所／益城町宮園702）

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◆いきぬこ〜会

ご自宅で介護されている家族の方が、普段の介護の中での思いやちよつとした相談などをお話していただける場として2か月に1回開催しています。

開催日時／1月22日（水） 13時30分から

場所／復興まちづくりセンターにじいろ

（住所／益城町宮園702）

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◆つぶやきサロン

各地域サロンでの活動で、参加者の最近の想い（つぶやき）をご紹介します。

～ 定年後 毎日寝て食い

～ ブタならとっくに出荷済

～ 目をこすり 朝日に背を向け

～ ウォーキング

～ 孫とゲーム 手抜きせずに

～ ムキになる

～ 早起きは 三文の徳

～ ありがたし

～ マスクなし みんなの顔が

～ 明るいナ

～ 幼子の 想いはひとつ

～ 父の顔

～ 朝起きて 外の空気

～ 気持ちいい

～ 難聴で 嫁の小言は

～ 聞こえんと

～ その内に あーた誰など

～ つれに聞く

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◆心配ごと相談

日常生活のちよつとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
1月8日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	堀内敦子 (人権擁護委員)	海野秀夫 (民生児童委員)
1月15日(水)	松尾英美 (司法書士)	後藤奈保子 (人権擁護委員)	佐藤廣美 (民生児童委員)
1月22日(水)	松尾 一 (行政書士)		酒瀬川ひとみ (民生児童委員)
1月29日(水)	松尾英美 (司法書士)		永田結子 (民生児童委員)
2月5日(水)	松尾英美 (司法書士)		高本和雄 (民生児童委員)

# 地域福祉課

## 応援隊養成講座

地域サロンをサポートする人材不足を改善しサロンをより活性化することを目的に毎年開催しています。今回は20名のサポーターの方が誕生しました。

今年も開催する予定ですので、地域活動に興味がある方は「地域サロン応援隊養成講座」には是非ご参加ください。



新たな協力員（4期生）

## 地域サロン 2000回記念

現在益城町では61行政区55か所で地域サロンが開催されています。住み慣れた地域で安心して生活できるよう、日頃から近所のつながりや情報の共有、有事の時の対応方法など話し合いながら地域づくりの場の1つとして活動することを目的としています。

昨年4月から12月の間に開催2000回を迎えられた地域が3か所ありました。

### ① 広崎3町内かたろう会

代表の海野秀夫さんから、「毎年2月にみんなで話し合って、年間計画を決めています。皆さんが楽しめるように色々考えていきたいです」と話していただきました。



参加者最高齢の瀬口さん夫妻



広崎3町内かたろう会

### ② 小峯ニココサロン

代表の大津誠三さんから、「サロンの参加者が高齢化などで年々減少していますが、皆さんが健康で楽しく参加できるサロンとして、3000回目指して継続していきたい」と話していただきました。



小峯ニココサロン

参加者最高齢の平上 榮一さん



参加者最高齢の松村 福蔵さん



### ③ 惣領4町内こがみサロン（平成18年6月から開催）

代表の谷口茂泰さんから、「この度は誠にありがとうございます。これも地域の皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます」と話していただきました。



惣領4町内こがみサロン



参加者最高齢の大脇 志津子さん



## 支え合いによる移動支援の取り組み

今回は、益城町内で活動されている「ましきおでかけ支援隊」の活動について井上俊夫さんからお話を伺いましたので、ご紹介します。

この取り組みは、熊本地震をきっかけに平成29年3月から、津森校区にお住いの方の買い物や通院をサポートしてきました。NPO法人イーモビネット鶴岡代表の呼びかけで始まりました。一昨年末しきおでかけ支援隊の活動体験をし、地域福祉塾卒業生（男性4名）が「高齢者の自分にもできそう」とこの支援活動を選び、体験後の一步を踏みこみ、運転ボランティアとして活動しています。運営も全員で「主役はご利用者様」を主題に協議します。

NPO法人イーモビネットの支援や社協と活動等を情報共有し、2団地（田原

第2・畑中団地）の利用者のお手伝い活動中です。

また、11月には、四賢婦人記念館や江戸期建築の林家見学とピクニックを行いご利用者との交流を楽しみました。高齢スタッフでも活動を通じ様々な方と触れ合い、安全安心運転責任、また、緊張感を維持する日常は刺激もあり若返ります。毎週木曜日を活動日とし、スタッフ4人で交代しながら月1回の当番制で活動しています。朝9時に「おはようございます」のご利用者様への声掛けとスタッフ共有LINEの「気をつけて」の受信で気を引き締め買い物支援に出発です。車内では、ご利用者の話や笑い声で賑やかです。「今日もありがとう」に喜びとやる気をいただきます。買い物で元気を誘い、どこいこカー号はそのお手伝いの愛車です。私たちは安全運転に徹します。



四賢婦人記念館の前で



ましきおでかけ支援隊(左から2番目が井上さん)

## 認知症地域支援事業

今年1月に「認知症基本法」が施行されました。この法律は地域の中で認知症の方やその家族が安心して生活できるように、まわりの私たちが正しい知識、理解を持つことの必要性、そして地域で支え共に歩くことが示されています。

すでに認知症の方と共に歩んでいる方も、また「認知症ってよく分からないな」と感じている人もいます。これからもその方たちに認知症のことを少しでも知っていただくお手伝いできれば…と考えています。

### 認知症カフェ「ほっこり茶屋」開催中

木山下辻団地集会所では月に1回、認知症予防も兼ねてカフェを開催しています。今年は皆さんで「ひょうたん作り」に挑戦しました。



くまもと生協さんでの認知症サポーター養成をとおして見守り強化を



介護の専門家を集めての多職種協働研修会



みんなでひょうたんを植え



すくすくと大きくなり



可愛らしいひょうたんができました



安永の守住さんに協力して頂いて色塗り



今年は団地の皆さんへ配布できればと思っています。

# 在宅福祉課

## CSW（コミュニティソーシャルワーカー）

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよい

か分からない悩みごとや困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。ご相談は、高齢・障がい・子ども・生活困窮などの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に

向けて一緒に考えていきます。

具体的には、多機関協働、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援に取り組み、その中で社会福祉士連絡会や行政区別福祉座談会、心配ごと相談を行っています。



社会福祉士連絡会



心配ごと相談の詳細は3ページをご覧ください

何かご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください。  
お問い合わせ 在宅福祉課 ☎096-214-5566

## 行政区別福祉座談会

11月は下陳、下原、中砥川、寺迫で開催

行政区別福祉座談会は、地域の課題や困りごとの情報共有、解決に向けた支援を目的に令和4年度から実施しています。区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員など地域で活躍されている方に参加いただいています。令和6年度中に全行政区（68地区）実施を目標にしています。

### 下陳福祉座談会（11月8日）

下陳は、見守り訪問を民生児童委員と高齢者相談・地域福祉委員が日程を決めて一緒に訪問されているという話ができました。また、事例検討会では、課題のつなぎ先について、地域のつながりとして老人会や地域サロンを「地域」への意識の高さを感じました。



下陳福祉座談会の様子

### 下原福祉座談会（11月12日）

下原は、高齢化が進み、運転ができなくなつて買い物手段がなくなった時のことが心配という意見が出ていました。また、民生児童委員が新たに一人暮らし高齢者の情報を持って来られ、区長、高齢者相談・地域福祉委員と共有できました。



下原福祉座談会の様子

### 中砥川福祉座談会（11月21日）

中砥川は、子ども中心のイベントや子ども達と高齢者と地域との融合に力を入れて活動されている様子がうかがえました。見守り世帯に関しても、区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員とよく把握されました。

## 相談支援事業

秘密厳守

相談無料

### ◎生活困窮者自立支援事業

日々の生活のなかでの不安や困りごとをお聞かせください。

一人ひとりの状況に合わせた支援内容を相談者と一緒に考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

(例) 住まいのこと

子ども・家庭のこと

仕事のこと

生活費のこと…など

### ◎生活福祉資金貸付

他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるよう支援を行います。

(例) 離職し収入がなく生活維持が困難

子どもが進学予定だが資金不足

技能習得に必要な経費

医療費の支払等による臨時の生活費が必要

要など…まずはご相談ください。

### ◎地域福祉権利擁護事業

あなたの暮らしの安心をお手伝いします。

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が十分でないため、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている人の支援を行います。

(例) 家賃や公共料金の支払いが心配



寺迫福祉座談会の様子



中砥川福祉座談会の様子

## 共同募金事業

福祉サービスを利用したいけど、どうすればよいか分からない  
最近物忘れが多くて通帳や印鑑をどこにしまったか忘れてしまう  
色々な書類の手続きが分からない…など

令和6年10月1日から12月31日にかけて「赤い羽根共同募金運動」一歳末たすけあい募金運動を実施しました。集められた共同募金は、全額熊本県共同募金会へ送金し、次年度に社会福祉施設やNPO法人等の活動並びに社会福祉協議会を通じて各市町村の地域福祉の推進のための活動に活用されます。

## 車イスの貸し出し

企業や団体等からご寄付いただいた車イスを無料で貸し出しています。町内在住の高齢者や身体の不自由な方、一時的な病気やケガをされた方が対象です(但し、介護保険、その他の制度で対応が可能な方は対象外となります)。

貸し出し期間は最大1か月です。買い物や通院、旅行などの際にご利用いただけます。また、学校、企業、地域での福祉体験学習でも貸し出しを行っています。



みんなの秋祭りでの街頭募金



ままにスポーツ健康フェスタでの街頭募金



**新年あけましておめでとうございます。昨年も益城町シルバー人材センター  
をご利用いただき、ありがとうございました。新年も引き続き、ご愛顧を賜  
りますよう、よろしくお願い申し上げます。**

現在、私たちのセンターは122名の会員で構成されています（男性93名、女性29名）。会員は益城町内在住の高齢者の方々と、町民の皆様や地元企業様からのご依頼に応じて、以下のような業務をお受けしております。

◇草刈作業、剪定作業、除草作業、農作業、清掃業務等

◎その他の作業についても、ご相談に応じて対応いたします。



11月13日（水）秋津川河川沿いで、社会貢献と活動の周知のため奉仕活動（ゴミ拾い）を行いました

## 新しい会員を募集中！

益城町在住の概ね60歳以上の健康な方を対象に、新しい会員を随時募集しています。ご自身の体力や生活スタイルに合わせて無理のないペースで働けるため、安心して活動を続けていただけます。これからの人生を、より有意義で充実したものにするために、ぜひ私たちと一緒に地域貢献に取り組んでみませんか？

## 地域社会に貢献することを目指して

私たちは、仕事を通じて地域社会に貢献することを目指すとともに、登録会員が心身ともに充実した生活を送れるよう努めています。地域での活動は、単なる仕事の枠を超え、新たな出会いや生きがいを見つける場にもなっています。

## 興味のある方、会員登録をご希望の方へ

センターの活動内容にご興味がある方や、会員登録をご検討中の方は、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ 益城町シルバー人材センター

電話096-289-6092

2025年

1月

No.322

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470  
益城町保健福祉センター「はびねす」内  
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567  
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

